

癌化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **G-ベンダムスチン療法(2コース目以降)**
 対象疾患 CD20陽性の濾胞性リンパ腫
 診療科 血液内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法 (1.2)

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1					
①	生食	500mL			血管確保とフラッシュ用
②	カロナール	1000mg(5錠)			ガザイバ投与の30分以上前に服用
③	ポララミン	5mg/1mL(1A)		生食50mL	15分かけて
④	生食	50mL			30分かけて
⑤	ガザイバ	1000mg/body		生食250mL	投与速度は特記事項参照 総量250mLで調製
day2					
①	生食	500mL			血管確保とフラッシュ用
②	グラニセトロン	3mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて
	デキサート	13.2mg/4mL(4A)			
③	ベンダムスチン	90mg/m ²		生食500mL	2時間かけて
day3					
①	生食	500mL			血管確保とフラッシュ用
②	グラニセトロン	3mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて
	デキサート	6.6mg/2mL(2A)			
③	ベンダムスチン	90mg/m ²		生食500mL	2時間かけて
day4					
①	デキサート	6.6mg/2mL(2A)		生食50mL	15分かけて

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
1日目					
①生食	→				
②カロナール	↓				
③ポララミン	→				
④生食	→				
⑤ガザイバ	→				
2,3日目					
①生食	→				
②グラニセトロンなど	→				
③ベンダムスチン	→				

3 投与スケジュール (1.2)

1クール28日間。ガザイバは1日目、ベンダムスチンは2・3日目に施行する。総コース数6回まで

4 特記事項 (2)

※ **ガザイバの投与時間**
 初回投与時は12mL/h(50mg/h)で開始し、30分毎に12mL/hずつ
 最大100mL/h(400mg/h)まで上げることができる。
 前回の投与でGrade2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は25mL/h(100mg/h)で投与を開始し、30分毎に25mL/hずつ最大100mL/hまで
 上げることができる。

- ・ ガザイバはインラインフィルター(0.22μm以下)を使用。
- ・ ST合剤やアシクロビル等の予防投与を考慮する。
- ・